



平成19年3月期 第3四半期累計(9か月間) 財務・業績の概況(連結)

平成19年2月16日

上場会社名 **藤森工業株式会社**

(コード番号: 7917 東証第一部)

(URL <http://www.zacros.co.jp/>)

問合せ先 代表者役職・氏名 代表取締役社長 藤森 明彦 TEL (03) 3661-4211
 責任者役職・氏名 常務取締役 管理担当 飯島 崇夫

1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

(1) 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有

(内容) ① 一般債権に係る貸倒引当金の計算

前中間連結会計期間における貸倒実績率を用いて計算しております。

② 固定資産の減価償却の方法

年度見込額のうち当該四半期までの累計値を計上しております。

③ 税金費用の計算

連結会社の個別財務諸表上の税金費用については、法定実効税率をベースとした、当年度の予測税率を用いて計算しております。

(2) 最近連結会計年度からの会計処理方法の変更の有無 : 無

(3) 連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 : 無

2. 平成19年3月期第3四半期累計(9か月間) 財務・業績の概況(平成18年4月1日~平成18年12月31日)

(1) 経営成績(連結)の進捗状況

(百万円未満切捨)

	売上高		営業利益		経常利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
19年3月期第3四半期累計	57,084	(9.2)	1,699	(51.1)	1,784	(47.6)
18年3月期第3四半期累計	52,267	(5.1)	1,124	(△36.9)	1,208	(△31.4)
(参考) 18年3月期	71,272		1,699		1,817	

	四半期(当期)純利益		1株当たり四半期(当期)純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益	
	百万円	%	円	銭	円	銭
19年3月期第3四半期累計	981	(△70.1)	56	73	—	—
18年3月期第3四半期累計	3,281	(242.0)	189	69	—	—
(参考) 18年3月期	3,513		201	22	—	—

(注) 売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同四半期増減率を示しております。

[経営成績(連結)の進捗状況に関する定性的情報等]

平成19年3月期第3四半期(平成18年4月~12月)の国内経済は、夏場以降個人消費は伸び悩んだものの、円安傾向の下での輸出の堅調な推移並びに企業収益拡大を背景とした設備投資の増加等により、穏やかな景気回復を持続してまいりました。

しかしながら、化成品の関連業界におきましては、原油価格の高止まりによる原材料価格の値上圧力が継続する一方、製品単価への価格転嫁が容易でない状況が続くなど、業績回復に力強さを欠く状況にあります。

このような環境の下で、当社グループではLCD(液晶ディスプレイ)用保護フィルム・電子回路用材など機能材料部門を主体に受注を伸ばしたことから、売上高は全体として前年同四半期を上回る実績となりました。また、損益面では、材料費上昇・減価償却費増加及び生産・研究関連の人員増等のコスト増加要因がありましたが、資材調達効率化等を推進しつつ売上高増加を確保した結果、経常利益は前年同四半期比で増益となりました。

一方、前年同四半期には当社旧川崎事業所跡地の売却益として 50 億 4 千 3 百万円の特別利益を計上したことから、四半期純利益は前年同四半期比では減少いたしました。

その結果、当第 3 四半期の連結業績は売上高 570 億 8 千 4 百万円（前年同四半期比 9.2%増）、経常利益 17 億 8 千 4 百万円（前年同四半期比 47.6%増）、四半期純利益 9 億 8 千 1 百万円（前年同四半期比 70.1%減）となりました。

(2) 財政状態（連結）の変動状況

(百万円未満切捨)

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
19年3月期第3四半期	75,682	28,999	37.7	1,676 34
18年3月期第3四半期	66,387	27,512	41.4	1,590 39
(参考) 18年3月期	63,676	27,879	43.8	1,609 76

【連結キャッシュ・フローの状況】

(百万円未満切捨)

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
19年3月期第3四半期累計	3,115	△5,550	3,879	3,534
18年3月期第3四半期累計	3,147	1,000	△2,375	4,047
(参考) 18年3月期	3,589	29	△3,840	2,068

〔財政状態（連結）の変動状況に関する定性的情報等〕

当第 3 四半期末における資産の部では、売上増に伴う受取手形及び売掛金等の増加ならびに設備投資に伴う有形固定資産の増加等により、総資産は前連結会計年度末に対して 120 億 6 百万円増加の 756 億 8 千 2 百万円となりました。

負債の部につきましては、生産増による支払手形及び買掛金の増加ならびに借入金の増加等により、負債合計は前連結会計年度末に対して 113 億 4 百万円増加の 466 億 8 千 3 百万円となりました。

純資産は四半期純利益を含む利益剰余金等の増加により 289 億 9 千 9 百万円となりました。自己資本比率は総資産増加に伴い前連結会計年度末の 43.8%から 37.7%に減少いたしました。

〔キャッシュ・フローの状況〕

現金及び現金同等物の当第 3 四半期末残高は前連結会計年度末に比べ 14 億 6 千 6 百万円増加し、35 億 3 千 4 百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次の通りです。

「営業活動によるキャッシュ・フロー」は、売上債権の増加、法人税等の支払等の資金減少要因があったものの、税金等調整前四半期純利益 16 億 8 千 5 百万円に加え、仕入債務の増加 38 億 4 千万円、減価償却費 25 億 7 千 4 百万円があったこと等により、31 億 1 千 5 百万円の資金収入となりました。

「投資活動によるキャッシュ・フロー」は、当社沼田事業所等における機械設備等の有形固定資産の取得等により、55 億 5 千万円の資金支出となりました。

「財務活動によるキャッシュ・フロー」は、借入金全体で 42 億 3 千 2 百万円純増したこと等により、38 億 7 千 9 百万円の資金収入となりました。

〔参考〕平成 19 年 3 月期の連結業績予想（平成 18 年 4 月 1 日～平成 19 年 3 月 31 日）

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり予想 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	
通 期	74,000	2,350	1,400	80 円 93 銭

※上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としています。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

[連結業績予想に関する定性的情報等]

当第3四半期は概ね計画通りに推移しており、平成18年11月16日に公表いたしました業績予想には変更ありません。

1. (要約)四半期連結貸借対照表

(単位:百万円、%)

科 目	当四半期 (平成19年3月期 第3四半期末)	前年同四半期 (平成18年3月期 第3四半期末)	増 減		(参考) 平成18年3月期
	金 額	金 額	金 額	増減率(%)	金 額
(資産の部)					
I 流動資産					
1. 現金及び預金	3,774	4,287			2,308
2. 受取手形及び売掛金	25,123	21,950			22,102
3. たな卸資産	9,132	8,281			7,753
4. その他	1,852	1,824			1,806
流動資産合計	39,883	36,343	3,540	9.7	33,972
II 固定資産					
1. 有形固定資産	29,959	23,989			23,707
2. 無形固定資産	833	990			933
3. 投資その他の資産	5,005	5,063			5,062
固定資産合計	35,798	30,043	5,755	19.2	29,704
資産合計	75,682	66,387	9,295	14.0	63,676
(負債の部)					
I 流動負債					
1. 支払手形及び買掛金	19,979	17,120			16,080
2. 短期借入金	2,410	2,736			1,150
3. 賞与引当金	426	437			807
4. その他	8,494	5,873			5,118
流動負債合計	31,309	26,168	5,141	19.6	23,156
II 固定負債					
1. 社債	200	200			200
2. 長期借入金	9,507	6,414			6,535
3. 退職給付引当金	3,636	3,577			3,382
4. 役員退職引当金	337	308			316
5. その他	1,691	1,803			1,788
固定負債合計	15,374	12,304	3,069	24.9	12,222
負債合計	46,683	38,472	8,211	21.3	35,379
(少数株主持分)					
少数株主持分	—	402	—	—	417
(資本の部)					
資本合計	—	27,512	—	—	27,879
負債、少数株主持分 及び資本合計	—	66,387	—	—	63,676
(純資産の部)					
I 株主資本					
株主資本合計	27,252				
II 評価・換算差額等					
評価・換算差額等合計	1,295				
III 少数株主持分	451				
純資産合計	28,999				
負債、純資産合計	75,682				

2. (要約) 四半期連結損益計算書

(単位:百万円、%)

科目	当四半期 (平成19年3月期 第3四半期)	前年同四半期 (平成18年3月期 第3四半期)	増 減		(参考) 平成18年3月期
	金 額	金 額	金 額	増減率(%)	金 額
I 売上高	57,084	52,267	4,817	9.2	71,272
II 売上原価	47,518	43,619	3,898	8.9	59,454
売上総利益	9,565	8,647	918	10.6	11,817
III 販売費及び一般管理費	7,866	7,522	344	4.6	10,118
営業利益	1,699	1,124	574	51.1	1,699
IV 営業外収益	377	326	50	15.5	449
V 営業外費用	291	242	49	20.6	331
経常利益	1,784	1,208	575	47.6	1,817
VI 特別利益	17	5,098	△ 5,081	△ 99.7	5,104
VII 特別損失	116	766	△ 650	△ 84.8	1,015
税金等調整前四半期 (当期)純利益	1,685	5,541	△ 3,856	△ 69.6	5,906
税金費用	672	2,228	△ 1,555	△ 69.8	2,344
少数株主利益	31	31	0	△ 0.4	48
四半期(当期)純利益	981	3,281	△ 2,300	△ 70.1	3,513

3. (要約)四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	当四半期 (平成19年3月期 第3四半期)	前年同四半期 (平成18年3月期 第3四半期)	(参考) 平成18年3月期
区 分	金 額	金 額	金 額
I 営業活動によるキャッシュ・フロー			
税金等調整前四半期(当期)純利益	1,685	5,541	5,906
有形固定資産除売却損益(益:△)	61	△ 4,476	△ 4,457
減価償却費	2,574	2,272	3,196
売上債権の増減額(増加:△)	△ 2,206	△ 2,640	△ 2,895
たな卸資産の増減額(増加:△)	△ 1,359	△ 700	△ 162
仕入債務の増減額(減少:△)	3,840	2,867	1,788
法人税等の支払額	△ 1,577	△ 465	△ 467
その他の増減額(減少:△)	96	748	681
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,115	3,147	3,589
II 投資活動によるキャッシュ・フロー			
有形固定資産の取得による支出	△ 5,705	△ 4,206	△ 5,333
有形固定資産の売却による収入	138	5,256	5,230
その他の収支(支出:△)	16	△ 48	132
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 5,550	1,000	29
III 財務活動によるキャッシュ・フロー			
短期借入金の純増減額(減少:△)	△ 150	△ 3,280	△ 4,350
長期借入れによる収入	5,200	3,800	4,400
長期借入金の返済による支出	△ 817	△ 2,557	△ 3,553
その他の収支(支出:△)	△ 352	△ 337	△ 337
財務活動によるキャッシュ・フロー	3,879	△ 2,375	△ 3,840
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	21	6	22
V 現金及び現金同等物の増減額	1,466	1,780	△ 199
VI 現金及び現金同等物の期首残高	2,068	2,267	2,267
VII 現金及び現金同等物の期末残高	3,534	4,047	2,068